

2021年7月6日

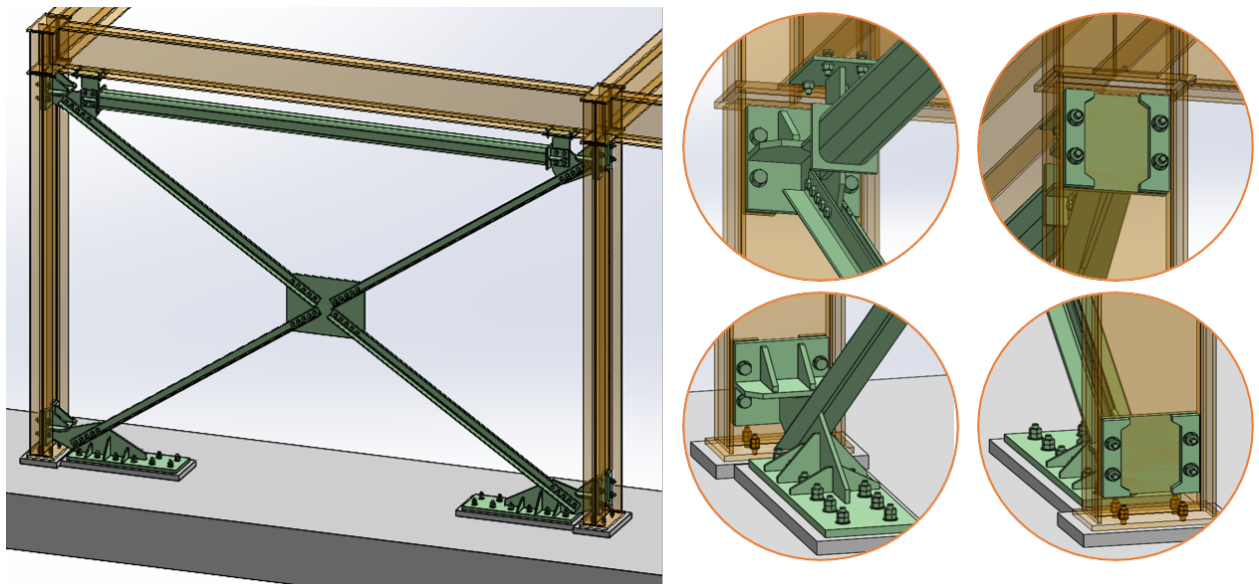
センクシア株式会社

従来の耐震補強に替わる無溶接のブレース接合部工法 「スマートクロノス®工法」を発売

建材機器の製造・販売及び関連工事を行うセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 執行役社長：笠原 伸泰）は、従来の鉄骨造耐震補強に替わる無溶接・短工期のブレース接合部工法「スマートクロノス工法」の販売を始めました。

鉄骨造建築物の耐震補強工事では、建物に補強部材を取り付ける際に、溶接する方法が一般的です。しかし溶接工法は、作業や火気養生に手間と時間がかかり、かつ工事中の火災リスクを伴うため、火気を使用しない安全安心かつ簡易的な接合方法が求められています。

当社ではこのような課題に対して「無溶接」と「施工効率の向上」をコンセプトに、先行して「スマートアタッチ工法」（方杖補強）を開発し、工場・倉庫などの耐震補強に採用され好評をいただいております。この度、この技術を応用し、専用のSC金物とボルトでブレース材の設置が可能となる「スマートクロノス工法」を開発しました。



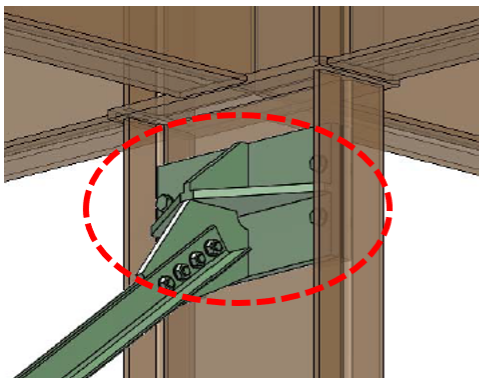
スマートクロノス®工法 イメージ図

■ 「スマートクロノス®工法」の特長

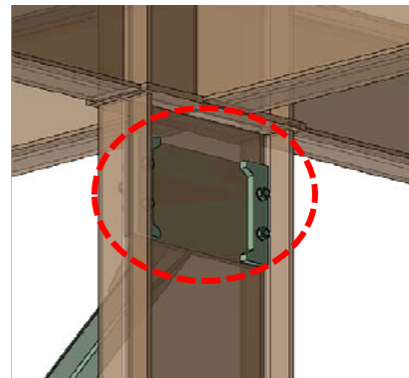
「スマートクロノス工法」は、現場での「無溶接」「施工効率の向上」をコンセプトに開発した、無溶接接合法です。引張ブレースのみに対応し、専用の SC 金物とボルトでブレース材の設置が可能です。

(1) 無溶接化により火災リスクを低減

専用の SC 金物とボルトでブレース材を設置する無溶接接合法で火気を使用しないため、火災リスクを大幅に低減できます。



【SC表金物】



【SC裏金物】

(2) 工期短縮・トータルコスト低減

無溶接工法のため、施工場所の火気養生作業が不要で工期を短縮できます。無溶接による工期短縮により、トータルコストを抑えられます。

(3) 設計省力化

当社独自の接合方法（無溶接工法）を用いるため、柱とブレースの接合部の設計の手間がかかりません。

(4) (一財) 日本建築センターの審査証明を取得

本技術を用いた接合部耐力評価については、構造実験を行い、(一財)日本建築センターより建設技術審査証明を取得しています。

(BCJ-審査証明-275)

尚、本証明範囲は柱とブレース接合部の耐力評価のみとなります。補強方法については審査証明外となるケースもあります。

<スマートクロノス®工法 商品概要>

1. 商品名 スマートクロノス®工法

2. 適用範囲

- 構造種別 : 鉄骨造
- 用途 : 耐震補強
- 既存材 : H形断面材（溶接組立H形鋼も可）
- 既存材サイズ／材質 : H形断面材せい：250～612mm／400N級
ウェブ厚：6～21mm
- ブレース降伏耐力／角度：635kN以下（400N級 2L-75×75×9程度）／30～60°
（引張ブレースのみ）
- SC金物材質 : SN490B
- ボルト : 高力ボルト（S10T, F10T）／六角ボルト（強度区分 10.9）

3. 取得証明

（一財）日本建築センター建設技術審査証明：BCJ-審査証明-275

4. 価格 お問い合わせください。

5. 製造元および販売元

東京都港区東新橋二丁目3番17号

センクシア株式会社（耐震補強事業部） TEL: 03-4214-1925

<本件に関するお客様のお問合せ先>
センクシア株式会社 耐震補強事業部 TEL:03-4214-1925

<本件に関する報道関係者のお問合せ先>
センクシア株式会社 経営企画部 keiki@senqcia.com